

# 特集 23年度予算のあらまし

## 3つの種類がある市の予算

市の会計には、税金や国・県からの交付金・補助金、市債などを財源として、一般的な行政の経費を扱う「一般会計」と、特定の事業を進めるため、使用料など特定の収入を充てて独立した経理を行う「特別会計」「企業会計」があります。

これらの収入と支出を取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるもので、市長が予算案を作成し、市議会がそれをチェック・審議して決定します。

## 財政用語の解説

**歳入・歳出** 地方公共団体のその会計年度の一切の収入を歳入、支出を歳出と呼んでいます。

**自主財源** 地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源。地方税、使用料、寄附金などがあります。

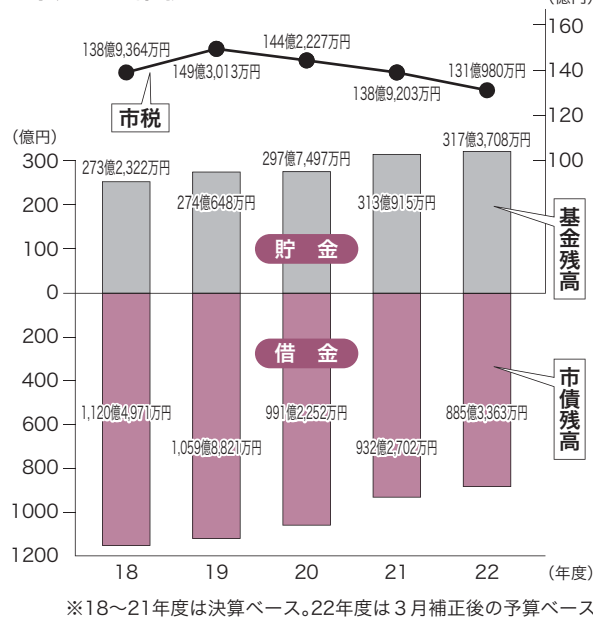
**依存財源** 収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。

**地方交付税** 市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるよう市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。普通交付税と特別交付税があります。

**地方債(市債)** 市町村がする借金のこと。税負担の公平性を保つために道路や建物など長期にわたって市民が恩恵を受けるものを整備するときには、大きな働きをします。

**公債費** 事業を行うために借りたお金(市債)の元金・利子などを支払うための経費です。

## 市財政の推移



## 特別会計・企業会計別の予算額

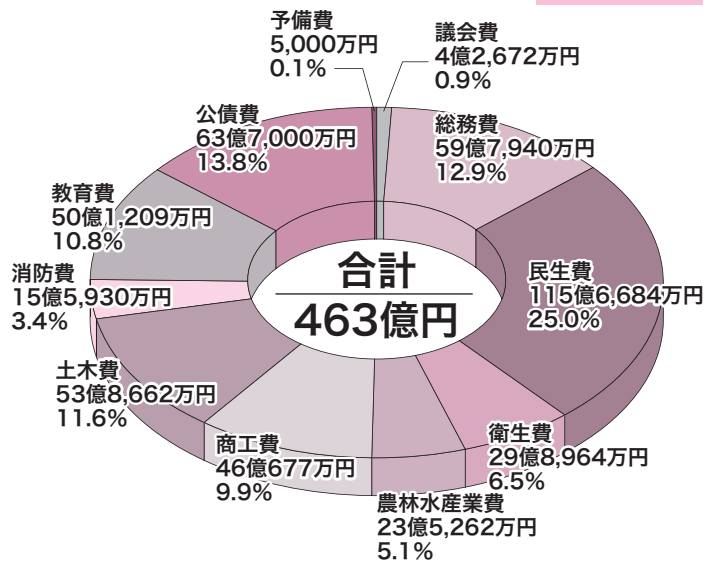
### ●特別会計

区分	23年度予算額	22年度予算額	比較%
国民健康保険事業(事業勘定)	104億5,900万円	99億4,074万円	5.2
国民健康保険事業(直診勘定)	6億8,150万円	6億6,622万円	2.3
下水道事業	33億7,300万円	37億360万円	△ 8.9
地方卸売市場事業	4,900万円	4,917万円	△ 0.3
学校給食費	4億2,540万円	4億3,488万円	△ 2.2
簡易水道事業	7億3,800万円	6億9,253万円	6.6
農業集落排水事業	6億8,030万円	7億4,933万円	△ 9.2
介護保険事業(保険事業勘定)	82億780万円	78億1,947万円	5.0
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	3,367万円	2,944万円	14.4
観光施設事業	1億690万円	2,620万円	308.0
後期高齢者医療事業	9億5,000万円	9億6,589万円	△ 1.6
老人保健医療事業	0	293万円	皆減
スキー場事業	0	9,551万円	皆減
合計	257億457万円	251億7,591万円	

### ●企業会計

区分	23年度予算額	22年度予算額	比較
水道事業	22億1,031万円	19億5,330万円	13.2

## 歳出



方、将来負担の軽減や財政健全化のために新たな借入れを抑制し、市債残高の削減を進めています。

**高山市の発展を引き継ぐために**

人口減少、少子高齢社会の到来により、今後行政需要はますます増えてくるものの、地方交付税の削減など一段と財源の確保が厳しくなっています。

次代を担う子どもたちに、「やさしさと活力あるまち」を引き継ぐため、市では今後市民のみなさんご理解とご協力を得て、行政改革を積極的に推進していきます。